

	7月1日現在	前月比
男	13,964	+2
女	14,159	+19
計	28,123	+21
世帯数	6,161	+8



手をあげて、正しい横断

6月10日、恋瀬保育所では、子どもに多い「とびだし」事故を未然に防ごうと、石岡警察署から2名の婦警さんを招き、入所幼児に交通安全の指導を行いました。

これは、正しい横断のしかた、信号機や道路標識の見方などを実地に指導したもので、子どもたちも真剣な顔つきで、婦警さんの「道路では、いったん止まって手をあげて、右を見て左を見て、また右を見て」の言葉にうなずきながら、じょうずに横断できるようになりました。

保育所では、これからも父兄参加により毎年実施し、交通安全の意識を更に深めたいと張り切っています。

今月号のご案内

- 養豚公害解消に威力、畜産フン尿処理施設が完成…2 P
- 第二回定例会で13議案が可決（議会から）……………3 P
- 近代的な火葬施設が完成（石岡地方斎場）……………4 P
- 瓦会の二次構すすむ……………5 P
- 参議院議員通常選挙終る、あなたのスナップ……………6 P
- 降ヒョウ農作物に大きな被害、写真サロン……………7 P
- スポーツ調査から、わが家の味、健康メモ……………8 P
- 母子家庭の母が病気のとき無料で介護人が派遣……………8 P
- 文化財散歩、やさと文芸……………8 P

ひぐれ時 ライトをつけよう 身の信号

南中3年
小松崎洋枝

上記の作品は、町交通安全教師の会によって募集された交通安全標語のうち、最優秀作品に選ばれたものです。

農業振興と環境整備をめざして 畜産フン尿処理施設が完成



□農業開発事業団が運営にあたる□

養豚公害の解消に威力

フン尿は有機肥料として利用

農業振興と環境整備事業の促進をはかるため、町では農業開発事業団を設立、総事業費七千五百万円を投じて鯨岡地内に畜産フン尿処理施設の建設を進めていきましたが、このほど立派に完成、去る六月二十九日県知事をはじめ関係者多数が参列、盛大に竣工式を行いました。

完成した施設は、一日五千頭の豚のフン尿を処理する能力をもつ大規模な処理プラント一基、事務所、倉庫等関連施設です。

この処理物は、有機質肥料として土壌改良材となり、地力が増進されるばかりでなく、「グイックドライ」を使用することで、豚舎の悪臭、カヤハエの発生、フン尿のたれ流しが防止され、豚は下痢がほとんどなくなり育ちがよく、肥育期間も短縮されるので、豚の健康管理材としては非常によい効果がみられ、まさに一石二鳥です。

鯨岡地内に完成した畜産フン尿処理施設

施設の運営は、農業開発事業団があたり、処理方法は、事業団が秋田県産の特殊な泥岩を精製した「グイックドライ」を一括購入、各養豚農家でこれを購入して豚舎に散布し、その吸着乾

うし、稲は丈夫で収穫がしやすいとたいへん好評で、農家から肥料の注文が殺到しているという事です。

町でも一般農家に依頼「クレトン」を提供して煙草、水稲、果樹、施設園芸など各種作物に試験的に実施しましたが、その結果をみてかかなりの効果が認められました。

中でも、イチゴは「クレトン」の使用試験で好成绩、粒が大きく色つやもよく高品質として増収が見込まれるうえ、市場でも高値で取引されるようになり、関係者から注目を集めています。

県下一養豚の盛んなことで知られている当町では、くらしよい町づくりを進めるため、大きな悩みであった畜産公害の追放に力を入れてきました。施設の完成により、畜産公害の解消に大きく貢献、積極的な畜産環境の整備はもとより経営規模の拡大や所得の向上もはかれますので、安定した畜産経営ができ、農畜産業の振興に果たす役割は



大規模なフン尿処理プラントの火入れ式を行った知事と町長ら

非常に大きいものとして、今後の運営が期待されています。

このような施設は、全国でもめずらしく、町の養豚公害対策フン尿処理プラントは、いまま各社から注目を浴びています。

しかし、施設が完成したといっても町全体から出るフン尿の量からみれば、まだまだほんの一部の処理しかできないので、さらに計画的に施設を建設する予定です。

この処理方法によると、豚のフンを掃き出し一カ所に集積するために、一部豚舎の改造を要しますが、フン尿処理や健康管

理に非常によい利点があることと、法律及び県条例等によって畜産汚水処理についての規制が厳しくなったことから、養豚公害防止にきめ手となる畜産フン尿処理事業は、これからの畜産経営と農作物栽培にはたいへん効果が期待できます。

事業団では「クイックドライ」を一袋(二〇キロ入)四三〇円、家畜フン尿処理物「フォーマラック」を一袋(二〇キロ入)六〇〇円で現在販売しています。

補正予算など十三議案が可決に

町議会第二回定例会

町議会第二回定例会が、去る六月二十四日から二十七日まで四日間の会期で開会され、陳情二件、報告三件、議案十三件が上程され、審議の結果いずれも原案どおり可決されました。定例会で可決された主な議案は次のとおりです。

在宅重度心身障害児の福祉手当、支給範囲が拡大に

在宅重度心身障害児の介護にあたる保護者とその家族の精神的、身体的労苦にむくいるために制定されている「在宅重度心身障害児福祉手当支給条例」の一部が改正され、支給適用範囲が、障害程度については「身体障害者手帳一級・二級」が「一級・二級・三級と下肢障害」については四級の一部まで」に、

また、買上げる生フンの価格は、一トン当り三、〇〇〇円です。この価格は、農家の皆さんにできるだけ安く提供する方針で決められたものです。

安心できる農畜産経営のため、また豚舎の悪臭とハエ等の発生防止のためにも、大いに利用されることをおすすめます。

ご利用の方は、大字鯨岡の八郷町農業開発事業団事務所(電話三二六二六九)へご連絡下さい。

精神薄弱児については「知能指数三十五以下」が「五〇以下」に、身体障害と精神薄弱の合併症については「身体障害者福祉法の四級までと知能指数六〇以下の重複障害」とそれぞれ拡大されました。

投票管理者等の報酬を改正

町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部が改正され、投票管理者等の報酬(日額)が次のよ

うに引上げられました。
投票管理者、開票管理者及び選挙長 五千元
投票立会人、開票立会人及び選挙立会人 四千元

消防団員の

退職報償金が引上げに

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部が改正され、消防団員が退職した場合に支給される退職報償金が引き上げられます。引き上げ額は、別表のとおりです。

町道路線の変更

吉生小学校建設予定敷地内の町道を廃止して、敷地外に路線を変更するものです。



林道弓弦線

請負契約結ぶ

弓弦線林道開設工事の請負契約を二〇、八〇〇千円で、常洋建設工業株式会社と競争入札によって結びました。

弓弦線林道開設工事は、八〇メートルを整備するもので、五十一年度に七〇〇メートルが完了しております。同線は今後も継続して整備する予定です。

戸の内地区簡易水道

請負契約を結ぶ

戸の内地区簡易水道工事の請負契約を七五、〇〇〇千円で、中沢機工株式会社と競争入札によって結びました。

進められる林道弓弦線の工事

吉生小学校建設用地九、八七七平方メートルを一四、九三四、〇二四円で買収するものです。
敷地総面積は、一二、九六九平方メートルですが、

吉生小の敷地を買収

吉川氏が再任

六月二十五日で任期満了となる町固定資産評価審査委員会の吉川浩氏(大字上林)が、議会の同意を得て再び選任されました。任期は三年です。

(別表) 消防団員の退職報償金支給額 (単位千円)

階級	年数				
	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団長	110	170	230	310	400
副団長	95	140	200	270	360
分団長及び副分団長	85	115	170	230	320
班長	75	105	150	210	290
団員	70	100	135	190	260

一般会計を補正

歳入歳出それぞれ二二、八九五千元を補正し、一般会計予算総額を三、一六四、五九七千円とするものです。

歳出の内訳は、職員退職手当組合特別負担金に七、九〇〇千円、環境衛生薬剤購入費に八、七三三、八千円、非常勤消防団員の退職に係る報償金及び掛金に二、三九一、千円などが主なものです。

残りは借地となります。

石岡地方斎場

近代的な火葬施設が完成

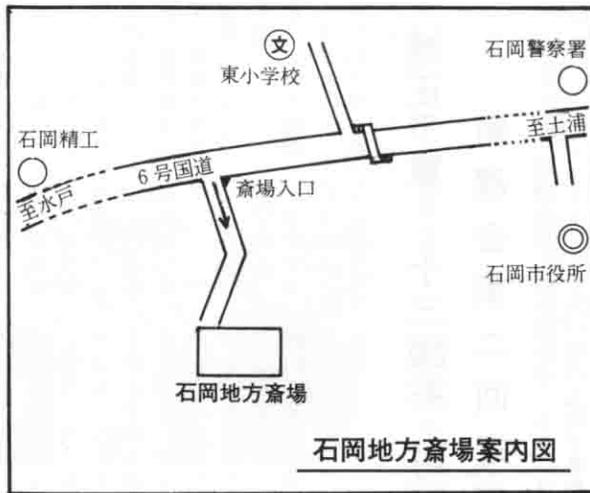
すでに六月から業務を開始

石岡・八郷・小川・美野里・千代田・玉里の六市町村で進められていた石岡地方斎場が石岡市東ノ辻に、このほど完成し、六月一日から火葬業務を開始しました。

この斎場は、これまでの石岡市営火葬場が老朽化し火葬能力が衰え、年々増加する火葬化傾向に十分に対応できなくなった

ため、同敷地を拡張し、新たに広域による火葬施設として建設されたものです。

昭和五十年八月二十五日に一部事務組合



石岡地方斎場案内図

を設立、近隣の関係市町村が共同で火葬施設を建設し利用しようとして、昨年十一月起工以来、総事業費一億七千万円をかけて、このたび火葬業務を開始する運びとなったものです。

完成した斎場には、最新の技術を取り入れ、

無煙・無臭により公害の発生しない火葬炉三基を設置、自宅葬儀の困難な方々のために葬祭の取り行える斎場、くつろげる待合室、厳かな告別ホール等、また構内には駐車場の他庭園を配置し、従来の施設の持つイメージを全く変えて、明るく近代的な施設に整備されています。

火葬施設の利用案内

このほど竣工しました死体(胎)火葬施設は、石岡地方斎場組合として、六月一日から火葬業務を開始していますが、この施設を利用して火葬する場合は、役場住民課の窓口で火葬する旨の死亡届をすれば、火葬施設の使用についての連絡等も併せて行ってくれることになっています。

火葬業務を行う時間は、午前九時から午後五時まで、友引にあたる日と正月一日及び二日は休業日となっています。なお、斎場の使用料金は、別表のとおりです。

利用上の注意

〈当家における納棺時の注意〉
●お棺の中にガラス・瀬戸物類、金物類、ビニール・ナイロン

類及び爆

発性物質等は、炉を傷めるため絶対に入れないよう、また布団、マットレス等の厚いものは、火葬時間が大幅に延びますから入れないで下さい。

●お棺の大きさは、長さ一八〇センチメートル、幅五十五センチメートル、高さ四〇センチメートル以内にして下さい。

〈当家における出棺時の注意〉
●遺体のために使用したドライアイス・化学防臭剤は、炉が破損するので取除いて下さい。

●当日火葬前に、火葬許可証及び斎場使用許可証を斎場事務室に提出し、使用料納付の手続きをして下さい。

●斎場では、係員の指示に従っ

斎場使用料金表

区分	種別	単位	使用料		備考
			石岡地方に石住有者	左記以外の者	
火葬場	満16才以上	1遺体につき	5,000 ^円	10,000 ^円	
	満16才未満	〃	2,500	5,000	
	死産児	〃	1,500	3,000	
	産汚物	ダンボール1個につき	1,000	2,000	
斎場会館	斎場	1回	5,000	10,000	1回の利用時は3時間増し1時間に3割増
	待合室(和室)	1室	1,500	3,000	1室の利用時は3時間増し1時間に500円

て下さい。なお、係員に対する「心づけ」「お清め」はお受けしませんのでご協力下さい。斎場には、線香・五種香・ロソクが用意してあります。また湯茶具・コップも備えてありますので、セルフサービスで利用して下さい。その他火葬施設の利用については、石岡地方斎場(電話〇二九九二一六八二八)へお問い合わせ下さい。〃

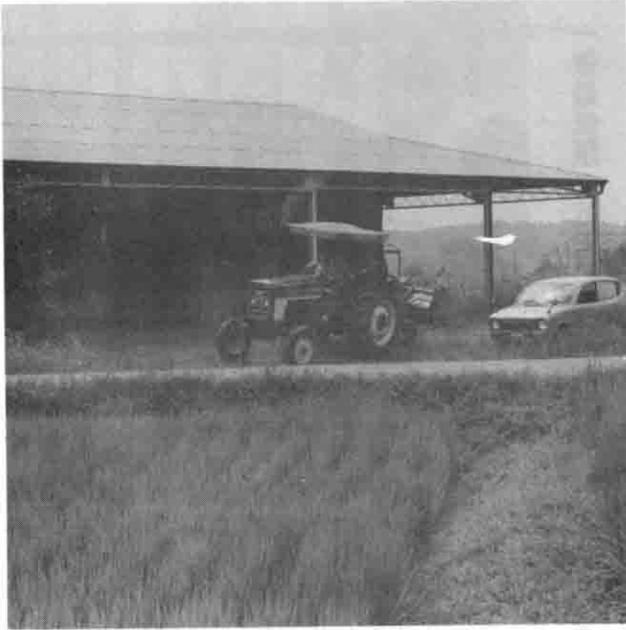
瓦会の二次構すすむ

水稲組合 ライスセンターを導 コンバイン

ことしで三年目をむかえた瓦会の両桁・山寺の第二次農業構造改善指定地区では、いまライスセンターの建設と酪農団地の増設が急ピッチで進められています。

昭和五十年度にトラクターや田植機、育苗施設を導入して、共同利用による水稲作の省力化を目指している瓦会第一水稲生

産組合では、さらに乾燥穀すりまでの一貫した作業体系をはかるために、ことし



水稲作の省力化にトラクターを共同利用する組合員

参議院議員通常選挙終る

投票率は前回を下まわり58.4%

第十一回参議院議員通常選挙が、去る七月十日に行われまし

投票は、午前七時から町内二六カ所の投票所で一斉にはじまり、午後六時には投票を終りました。

この結果、町における投票状況を地方選出議員についてみると、有権者二〇、二二八人に

対し投票者数は一一、八〇八人となり、平均投票率は五八・四パーセント、男女別では男六一・二パーセント、女五五・七パーセントでした。これを前回の通常選挙の平均投票率六九・九パーセントと比較してみますと、今回の投票率はかなり下まわりました。

また、茨城県の投票率は、男六三・三パーセント、女六一・八パーセント、平均で六二・五パーセントとなっています。

なお、この選挙では、全国選出議員の投票もあわせて行われました。

開票は、午後七時三〇分から八郷公民館において即日開票で行われ、町における各地方選出

あなたのスナップ

休耕田を利用して花菖蒲を植えたら、白や紫のきれいな花がみごとに咲きそろいました。写真は、園部地区厚茂において6月15日に撮影したものです。



「花菖蒲の咲く水田」
撮影者 田谷野正男
(上郷・53歳)

議員候補者の得票数は次のとおりです。

開票結果(地方区)

高杉みちただ	51	社新	二、四二六票
郡野祐一	75	自現	四、三四四票
海野みきお	45	共新	四、三三三票
石川次郎	36	無新	四、九一票
三村いさお	53	自新	三、四〇三票
無効投票			一、〇九七票
有効投票			七、一一票



若者たちの声を県政に 知事と青年の対話集会

「知事と青年の対話集会」が、去る6月10日、八郷公民館で開かれました。

これは、竹内知事の施政方針である「対話の県政」に基づき、県民の声を県政に反映させる目的で、青年との話し合いをもったものです。

集会には、郡内の青年約45名が参加、知事は青年たちの卒直な現状の訴えに、一つ一つ細かに受け答えしていました。

一俵最低限二万円の米価を!!

要求米米価の実現にむけ、去る六月八日、水戸市の県民文化センターで、県内各地の農家代表ら約一、七五〇人を集め「要求米米価実現茨城県生産者大会」が開かれた。

町からも、生産者

と農委代表三十三人が参加「最低米価六〇キロ（一俵）当り二万円」など、米米価の政府買入価格の引上げを関係機関に要請する決議をしたあと、参加者全員が水戸市内をデモ行進して集会を盛り上げました。



町観光協会では、柿岡商店街に設置したフラワー・ボックス37個に、今年も去る6月10日、さつきとくめつつじの苗木100本（2万円相当）を植えました。花のある明るい町となり、街行く人たちに好評です。



休養村センター花壇に 南青年団で花の種まく

去る六月五日、南青年団では、

自然休養村センターの花壇に、サルビア、ペコニアなど、いろいろな草花の種をまきました。いまでは、きれいな花が咲き、観光客の眼を楽しませています。



明るくきれいな街に さつきの苗木など百本



降ヒヨウ

農作物に大きな被害 町では被害対策に

10,157千円を専決処分

去る六月十四日、町内に降ヒヨウがあり、農作物に大きな被害を受けました。被害区域は柿岡・林・園部・小桜地区で、水稲・梨・煙草・桑・加工トマト・ブドウ・野菜などに総額で約八億

円の被害を受けました。

町では、早速被害調査を進める一方、茨城県農業災害特別措置条例の適用を申請するとともに、農作物被害対策費として補正予算一〇、一五七千円の専決処分を行い、農協はじめ関係機関の協力を得て、次のような補助・融資事業を実施しました。

●補助事業

- 病害虫防除事業 水稲いもち病予防三四六ヘクタール、梨黒星病予防六二ヘクタール、ブドウ黒痘病予防三ヘクタール、加工トマト疫病予防一七ヘクタール、桑縮葉病予防四一ヘクタール、煙草殺菌剤二三八ヘクタール、プラム病害予防三ヘクタールなどあわせて

五二二ヘクタールについて防除事業を実施。町と県でそれぞれ二分の一ずつ補助し、事業費補助額は約四、〇〇〇千円となっています。

●樹草勢回復事業 桑が対象作物で、四一ヘクタールの施肥（十アール当り肥料六〇キログラム）事業を実施し、補助額は約一、〇七〇千円となっています。へ代作用種苗購入 全滅した農作物の代作用に落花生・大豆・いも苗・トウモロコシ・インゲンなどの種苗購入を行い、町と県でそれぞれ五分の二ずつ補助があり、補助額は約四九〇千円となっています。

●融資事業

県条例に基づく災害経営資金の貸付を行い、借受希望者は一三〇名で借受希望総額が二二三、〇〇〇千円におよび、これに対する利子補給額は約四、二〇〇千円にのぼっています。

■寄贈

- 林保育所へ保育教材セツト 下林 桜井幸雄
- 林保育所へ子供用三輪車 五台 下林 富田勝重
- 瓦会小学校へぞうきん百枚 弓張 土田たい
- 園部保育所へカーテン（五万円相当） 真家 有限会社真家建設

